

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		福祉のまちづくり整備助成					所管	福祉部 福祉課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	195	計画事業名	福祉のまちづくり推進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 42 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進					[事業開始] 平成16年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕			東京都福祉のまちづくり条例、台東区福祉のまちづくり整備助成金交付要綱				
	事業対象	直接の対象 : ①診療所、②施術所、③薬局、④その他これらに類する施設 最終的な対象 : 区民一般								
	事業目的	公共の施設のバリアフリー整備を行おうとする者に対し、区がその経費の一部を補助することにより、バリアフリーを促進し、区民の社会的自立と社会参加の機会を拡大する。								
	事業内容 [H30年度]	医療等施設のバリアフリー整備(①道路から出入口までの通路、②建物の出入口、③その他)に対する助成 ・補助率:補助対象経費の1/2 ・補助限度額:100万円								
	委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度 目標値	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績 目標値 達成率			
	活動指標	整備件数	件	2	2	0	1	2	50.0%	
	成果指標	累計整備件数	件	31	26	26	27	32	84.4%	
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
	事務事業コスト (単位:千円)				802		0		60	
	人にかかるコスト(人件費など)				892		838		882	
	物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				0		0		0	
	その他のコスト(扶助費・補助費など)				802		0		60	
	総経費				1,694		838		942	
	財源項目 (単位:千円)				0		0		0	
受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				401		0		30		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				1,293		838		912		
一般財源(区負担額)										
課題及び今後の進め方		助成件数が減少傾向にあるため、引き続き助成制度の周知を図ることで、バリアフリー化を促進していく。								
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	医療施設等が高齢者や障害者をはじめ誰にとっても利用しやすくなるよう、バリアフリー化を支援していくことは必要である。							
	効率性	3	コストや効率性に大きな変化はない。							
	手段の適切性	3	助成事業の実施にあたり、事前・事後にきめ細かな確認をすることで、適切な執行を行っている。							
目的達成度	3	助成件数は減少傾向だが、小規模医療施設等のバリアフリー化は着実に進んでいる。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
継続的な取り組みにより、区内の小規模医療施設等のバリアフリー化は着実に進んでいる。より一層、施設利用者の利便性を向上させるため、引き続き助成事業を実施していく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		